

水戸市女性情報誌

びよんど

Beyond gender

2005.8 VOL.18



※びよんどの由来は？ Beyond gender(性差を超えて)の思いが込められています。ジェンダー(gender)とは、社会的、文化的につくられた性差のことです。

特集

「次世代育成支援に向けた新たな取組 少子・子育て支援」

水戸市



—たくさんの人たちに支えられて—

つねずみ消費者友の会会長

田山 喜子さん



現在、つねずみ消費者友の会、水戸市環境審議会委員、水戸市青少年育成推進会議理事など、主に環境や消費生活、青少年育成などの多方面で活躍されています。

そして今年、自宅にコミュニケーションの場として、子どもたちに本を読む楽しさを知ってもらおうと子ども図書館『モモ』をオープンしました。

現在の活動をするうえで役に立ったという、さまざまな経験や考え方について、お話を伺いました。





つねすみ消費者友の会に入会するまで

ダイグラボウ像の近くに自宅兼図書館『モモ』を開く田山喜子さんは、つねすみ消費者友の会の会長を務めています。現在の消費者活動を振り返ると、青年団体活動をなさっていました。

「私の青春時代は、茨城県つばさの会、茨城県青年団体連盟等の青年団体活動で明け暮れ、県立青少年会館建設募金活動、青年の船活動の渦の中心部にいて暇なしでしたね。十数年間の活動では、『発言してそれが通ったとき、責任を負って行動する』『そのときおかれた状況でベストを尽くす』『常にプラス思考で』などの考え方が身に付き、多くの友人もできました。もっとも、『言いたしつべの誇り』と『ああ、言わなきゃ良かった』の繰り返しでしたね。約30年前の男社会の青年団体活動では、女だからという逃げ場はなく、平等でした。理事会で意見を言う通つたら、自分が責任を持って行動しなければ、女性の出でいく場を自ら狭めてしまつと自覚して活動していました。辛くても責任を果たさないと、活動の仲間に入れてもらえない、というんじやうが、仲間として次のステップが踏めなかった、暗黙の掟というのか、そう感じていましたね。」

「また、実際に社会に出てからでは許されないでしょうが、青年団体活動では多少の失敗をしても経験のうちと認められ、その後処理を学んだ気がします。この青年団体活動も良さを伝えたいですね。活動の中で社会や地域に理想をぶつけてみることは、その後の人生の糧になると請合えますから。」

「ところで今、女の人たちが社会で

活躍し、男女平等参画社会とかよい方向に動いています。世の中半分は女の人ですからね、女の目線、女の感性は社会の中で重要だと思えます。社会にものを言い、感性を活かそうというとき、それは責任を伴つてのことです。責任を背負つてはじめてバランスのいい社会ができると思つています。魯迅の『故郷』という作品に『歩く人が多くなれば、それが道になるのだ』というフレーズがあります。多くの人が新しい社会を希望すれば、道が開けるといふ。励みになるいい言葉ですね。」

その後、軸足を青年団体活動から、消費者活動へと移していきます。「青年、と自称するのに少し恥ずかしさを感じ出した頃、青年団体活動を一緒にしていた県職員の方から、『消費者リーダー養成講座があるけど受けてみない?』と誘われたことがきっかけでした。」

地域の皆さんや仲間を支えられて

田山さんは、平成5年に茨城県消費生活研究講座で、有用微生物群を使って堆肥をつくり、それを活用したおいしい野菜づくりの発表を聞き、ピンときたそうです。ごみの減量化とリサイクルができるこの発表に触発されて、実際に自分で試したうえで会の活動に提案されました。

「良いことね。やってみましょうと総会で承認され、生ごみのリサイクル活動を始めたのは平成6年のこと。それが今では、つねすみ消費者友の会活動の看板事業になっています。さらに、室内用生ごみ処理容器も市の補助対象になりましたし、小学校の給食の残飯を使った堆肥づくりに活用してもらえ

るようにもなりました。」

そして今年、自宅を開放し、子ども図書館『モモ』としてオープンしました。『モモ』の由来は、ミヒヤエル工ンデの本、『モモ』からいただいたといふことです。

「時間について語りかける『モモ』にあやかつて、ぼーっと、ゆったりとした時間を過ごせたら素敵だな、と。また、やさしく、柔らかなイメージ、子どもにも覚えやすい親しみのある言葉だと思ひまして。展示してある本は、年齢層やジャンルにこだわらずにそろえ、4000冊くらいでしょうか。県立図書館の団体貸し出し枠から絵本や児童書を中心に約500冊ほどお借りしています。」

これだけ本があると、図書館の運営が大変だと思ひますが、いかがなさっているのでしょうか。

「広域ボランティア、青少年育成アドバイザー、つねすみ消費者友の会の仲間たちや地元の方々などの支援を受けており、本を通じてひろがりがあります。仲立ちがあるっていいのはいいですね。何がきっかけで仲間が増えても嬉しいことですから。お母さん方も、お子さんが本を読んでいる間に、運営スタッフと話し合う中で、子育ての楽しみが広がっていくみたいよ。おしゃべりが、お役に立てるのかな。ふと漏らしたことががね。それで子育て支援などもどこまでできるんじゃないかなと、考えているんですよ。たぶん、解決の糸口でいいんですよ。情報交換の場になりますよ。『モモ』は、本目的でなくともどんどん訪ねてきて、たくさんの方に利用していただきたいと願っています。」

プラス思考で

田山さんは、青年団体活動で培つた、物事に対する『プラス思考』という考え方をとても大事にされています。それは、いつでも前向きに自分の可能性を信じて実践していくことです。

「可能性の追求というか、試すというか、夢を実現するという楽しみってあると思うんですよ。夢を実現させるとき、障害をクリアするにはプラス思考に限ります。この『モモ』も、構想から実現までに10年かかっているの。年数はかかるかもしれないけれど、あきらめないで、プラス思考で過ごしていればいるんなことってそれなりにクリアされるもの。プラス思考っていうのは物事を好転させるためのギアになるんでしょね。」

最後にこれから何かやろうという人たちにひとことお願ひします。

「社会進出していくには実行力が問われます。発言の自由には責任も伴います。言行一致というのでしょか。そうしたうえで次のステージに進めると思っています。相対的にはいい時代に生きていますよ。ですから果敢にチャレンジをしていきましょよ。」



次世代育成支援に向けた新たな取組 少子対策・子育て支援

水戸市は、平成16年3月に水戸市次世代育成支援対策行動計画を他の自治体に先駆けて策定し、平成16年度に国より指定を受け、子育て支援総合推進モデル市町村（いわゆるカリスマ自治体）として各事業を展開しています。

計画の推進には「子育て・親育ち・地域育ち」の基本理念に基づき事業を進めています。子どもを生み、育てやすい社会にしていくためには、地域の力、市民の力が今後ますます必要となってきました。

今回は平成16年度に新たに取組んだ主な事業をご紹介します。

* 子育てほかほか広場 *

乳幼児の親子が気軽に集える交流の場を提供し、様々な年齢の子ども同士、またその親同士がふれあうことにより育児不安や負担感、孤立感の解消を図ります。

運営を地域の子育てボランティア等に委託し、安全で居心地のよい広場づくりを実施しています。



* 育児支援家庭訪問事業 *

育児に関する支援が必要な家庭に子育てアドバイザーを派遣し、育児、家事等の援助及び育児に関する具体的な指導を行うことにより、健やかに安心して育児のできる環境づくりを推進します。

問合せ 保健福祉部少子対策課
電話 232-9169

水戸市次世代育成支援対策行動計画に掲げた重点推進項目のうち平成16年度に新たに取り組んだ事業

- ☆ファミリー・サポート・センター事業の推進
- ☆事業所内保育施設の推進
- ☆公民館を利用した子ども向け講座の開催
- ☆子ども読書活動推進事業の実施
- ☆幼稚園の園庭解放の検討
- ☆中学生のわくわく赤ちゃんふれあい体験スクール
- ☆若者の就業意識の啓発
- ☆少子対策・子育て支援総合ガイドブックの作成
- ☆少子対策・子育て支援ネットワーク会議の開催



水戸市における少子対策への取組

- 平成 9年 児童福祉基本計画の策定
- 平成 15年 保健福祉部少子対策課の設置
- 平成 16年 行動計画先行策定都市として水戸市次世代育成支援対策行動計画を策定
子育て支援総合推進モデル市町村に指定

*** 少子対策・子育て支援ネットワーク会議 ***

少子対策・子育て支援は、地域における社会資源の活用や様々な担い手から行われるとともに、社会全体で取り組む必要があります。

少子対策・子育て支援ネットワーク会議では、子育て家庭が安心と喜びをもって子育てにあたるよう地域全体で支援していきます。

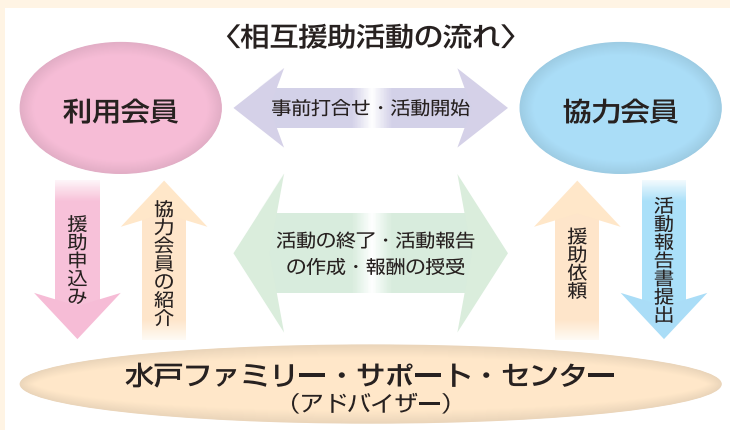
*** 中学生のわくわく赤ちゃんふれあい体験スクール ***

思春期は、将来母となり父となる準備段階であることから、乳児とのふれあい体験を通して、いのちの大切さや思いやりの心を学び、父性・母性を育成するために実施します。

*** 事業所内保育施設 ***

水戸市内の事業主及び事業主団体が行う事業所内保育施設の開設に要する経費について助成し、仕事と子育ての両立を支援するとともに、保育環境の充実を図ります。

*** ファミリー・サポート・センター ***



共働き世帯や核家族世帯の増加に伴う保育ニーズの多様化に対応するため、子育ての手助けをしたい人と手助けがほしい人、両方したい人を地域で組織化し、相互援助活動を通して地域のつながりを深め、安心して子どもを生子、育てやすい環境の整備を図ります。

9月は 水戸市男女平等参画 推進月間です

平成13年9月、「水戸市男女平等参画基本条例」が「日本女性会議2001みと」の開催に合わせて施行されてから4年がたちました。

この間水戸市では、平成16年に、その後11年間の総合的な施策の指針となる、新たな「水戸市男女平等参画推進基本計画」を策定し、国と男女共同参画宣言都市、そして地域の皆様が集う「全国男女共同参画宣言都市サミット in みと」を開催しました。

市民の皆様の男女平等参画社会への意識が高まりましたが、更なる意識の浸透を目指し、基本計画において、条例が施行された9月を、毎年男女平等参画推進月間と定めました。今年度が初めての推進月間となりますが、「ヒューマンライフシンポジウム2005」や、標語の入賞作品の発表などを行い、ポスターの掲示を通して広く皆様へ呼びかけてまいります。



ご応募
ありがとう
ございました



平成17年度 水戸市男女平等参画推進月間の 標語が決まりました

推進月間を前に、男女平等参画社会の実現をイメージした標語を募集しましたところ、たくさんの応募をいただき、ありがとうございました。選考の結果、最優秀作品1点、優秀作品3点が決まりました。最優秀作品となった、茨城大学教育学部附属中学校3年澤本颯人さんの「共に立ち、共に創ろう明るい社会」は、男女平等参画推進月間のポスターに掲載します。推進月間をきっかけにして、男性も女性も自分の足で立ち、人権と個性が尊重される男女平等参画社会の創造に向け、改めて考えてみませんか。

最優秀作品

共に立ち、共に創ろう明るい社会

茨城大学教育学部附属中学校3年 澤本 颯人さん

優秀作品

みとめあおう 男性女性の いい個性

水戸市立上中妻小学校6年 増井 聖弥さん

優秀作品

お互いの 個性を尊重 住みよい社会

水戸市立第一中学校3年 鈴木 千亜希さん

優秀作品

共生を育てる心 創る意思

那珂市菅谷 川本 康弘さん

Information ……水戸市ヒューマンライフシンポジウム2005

創造から未来へ

～^{いま}現在をみつめて みんなで創る個の生きる社会～



加藤 タキ 氏
(株)タキ・オフィス主宰



門脇 厚司 氏
筑波学院大学学長

親から子へ、子から孫へと時を重ね、時代はめぐり少子高齢へと進む。「ひと」と「ひと」が生き活きと暮らせる社会のいまと、これからの共に考えます。

- 基調講演「自分らしく 凛として生きる」
講 師：加藤 タキ ((株)タキ・オフィス主宰)
- トーク&トーク
「男女平等参画社会をめざして 私たちのできること」
加藤 タキ、門脇 厚司 (筑波学院大学学長)

- 日 時 **9月10日** (土) 午後1時開演
- 会 場 水戸市男女文化センター
びよんど 6階 大会議室
- 主 催 水戸市
- 企画・運営 ポスト日本女性会議2001みと
- 入場料 無料 (入場整理券が必要です)
- その他 手話通訳、要約筆記があります。
- お申込み方法
住所・氏名・年齢・電話番号・参加者数を
下記までお知らせください。
- お問合わせ・お申込み先
〒310-0063 水戸市五軒町1-2-12
水戸市男女文化センター びよんど内
水戸市男女平等参画推進室
TEL **226-3161**

男女平等参画社会推進のために・・・

○男女平等参画苦情処理委員会

男女平等参画に関する苦情の申し出を、公平・中立な立場に立って調査し、解決を図っていきます。詳細は、水戸市男女平等参画推進室までお問い合わせください。

○男女平等参画推進委員会

男女平等参画社会の推進のために設置された、市民・事業者・学識経験者から構成される委員会です。総合的な施策と重要事項を調査審議します。

・男女平等に関する・

相談窓口

家庭内暴力・セクハラ・人間関係の悩みなど、お気軽にご相談ください。秘密は厳守します。

○相談日時 毎週木・土曜日 午前9時から午後3時まで

○相談員 男女平等に関する相談員

○設置機関 水戸市男女平等参画推進室

○相談場所 水戸市五軒町1-2-12

水戸市男女文化センター「びよんど」内の相談室

○相談専用電話 **029-233-7830 (ナヤマゼ口)**

※来所、電話どちらでも可。予約不要です。



女性団体・サークル紹介

水戸市内原商工会女性部

私たちは、商工業に携わる女性として経営知識と教養を深め、商工業の改善発達を図り、併せて地域社会及び社会一般の発展・福祉の増進に寄与することを目的に活動しており、本年度で結成26年になります。

講師を招いて定例的に研修会を開催し、意識改革を図り、自己研鑽に努めております。また、地域のふれあいまつりにおいては、けんちんそば、山菜おこわ、手製のニットブラウス販売等を通じて、地域社会と積極的に連携しております。地域内の福祉施設でのボランティア活動も、10年以上継続して行なっております。

会の活動を通じて、自分たちが向上でき、同時に地域社会に貢献できることを願い、会員一丸となって活動しております。



でた de 女・性・問・題 DATA

高校生の職業意識



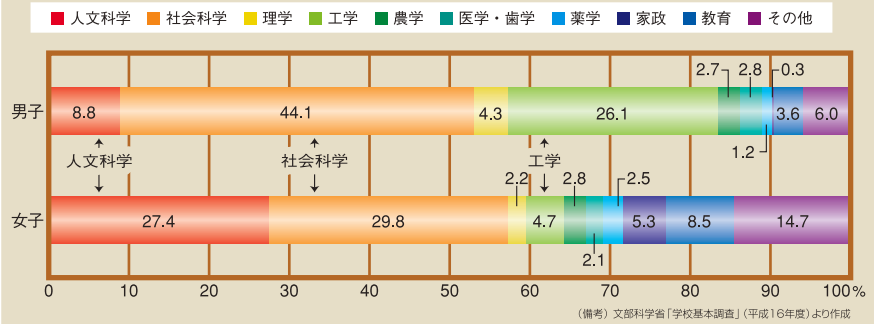
高校3年生が将来就きたい職業

男子 (単位:%)	
1	教師 10.4
2	公務員 8.5
3	大学教授・研究者・学者 6.6
	プログラマー 6.6
5	システムエンジニア 4.7
	建築士 4.7
7	ミュージシャン・演奏家 3.8
	薬剤師 2.8
	調理師・シェフ 2.8
8	消防士 2.8
	歌手 2.8
	CGデザイナー 2.8

女子 (単位:%)	
1	保育士・幼稚園教諭 12.8
2	看護師 10.1
3	教師 6.1
	医療事務・医療秘書 6.1
5	美容師 4.5
	社会福祉士・介護福祉士 4.5
7	公務員 3.9
	理学療法士・作業療法士 3.9
	栄養士・管理栄養士 3.9
10	販売職 3.4
	事務 3.4

(備考) (社)全国高等学校PTA連合会、(株)リクルート「高校生と保護者の進路に関する意識調査」(平成15年10月)より作成。

学部学生の専攻分野別割合



高校3年生の将来の職業に関する意識調査結果は、男子が大学教授・研究者・学者など研究技術系の職業を希望する仕事として多く挙げている一方、女子では保育士、幼稚園教諭、看護師、美容師等が上位を占めています。従来、男性及び女性が就くことが多かった職業のイメージが、職業選択に影響を与えていると言われています。

女子が理工系分野を進路として選ぶ傾向が低下していることは、社会の少子化とあいまって女性研究者や理数系の女性教員の減少につながります。女性の研究者等が活躍する姿を伝えるなどして、女性が進んで理工系分野にチャレンジするための支援策が求められます。

資料：内閣府・平成17年版男女共同参画白書

男女共同参画都市宣言

美しい自然に恵まれ豊かな歴史を育んできた、わたしたちのまち水戸
わたしたちは、水戸のまちをさらに輝きあふれる明日へとつなぐため、「平等・創造・平和」を基本理念とし、男女がともにわかちあい、ともにつくる社会の実現に向け、水戸市を「男女共同参画都市」とすることを宣言します。

- 1 わたしたちは、ともに一人ひとりが尊重しあい、平等のもとに生き生きと暮らせるまち水戸をつくります。
- 1 わたしたちは、ともに自らの意思で社会のあらゆる分野に参画し、次の世代へとつなぐ豊かでゆとりのあるまち水戸をつくります。
- 1 わたしたちは、ともに地球環境を守り、世界へ向けて、友情と平和の輪を広げるまち水戸をつくります。

平成8年4月1日

水戸市

編集後記

まだまだ暑い日が続きます。でも、朝夕のちょっとした時に秋の気配を感じる今日このごろです。読書の秋、食欲の秋、スポーツの秋などいろんな秋があります。皆さんはどんな秋を過ごされますか。

- 発行日／平成17年8月
- 編集・発行／水戸市 市長公室 男女平等参画推進室
〒310-0063 水戸市五軒町1丁目2番12号
水戸市男女文化センター「びよんど」内
TEL 029-226-3161
FAX 029-226-3162
- ホームページ／<http://www8.ocn.ne.jp/~beyond/>
- 印刷／常磐総合印刷株式会社
- 表紙絵／七字純子